＜著者と語る・サイエンス読書カフェ 11月11日＞

人類の起源　進化人類学が覆す歴史の常識

「ゲノム解析技術」の進展はいま、ものすごいスピードで人類史を塗り替えています。ネアンデルタール人と現代人類の遺伝的共通点を明らかにしたペーボ博士らに、ノーベル生理学医学賞（2022 年）が授与されましたが、2010 年、ロシアの洞窟から出土した人骨片から、新人類「デニソワ人」が発見され、2018 年に北海道・礼文島で発掘された人骨からは完全な核ゲノムデータが得られ、縄文女性の頭像が復元されるなど、人類の人種、文化、文明の成り立ちを再編成する作業が進んでいます。
その最前線はどのあたりにあるのか？　前国立科学博物館館長の篠田さんは、この領域の代表的な研究者です。縄文人・弥生人の歴史も従来のように単純ではないことなど、我われ日本人の成り立ちをうかがいながら、カフェを進めたいと思います。

日時；2026 年 11 月 11 日（水）午後 6 時 15 分から
場所；東京・大手町、読売新聞本社 3 階、新聞教室（地下鉄・大手町駅 C-3 出口）
今回も、会場と、オンラインの両方を使って開催します。
参加費；会場 2000 円、オンライン 1800 円
問い合わせ；よみうりカルチャー大手町スクール事務局 （03-3642-4301）
このサイトにも、案内があります。
会場受講：https://www.ync.ne.jp/otemachi/kouza/202610-18011501.htm
オンライン：https://www.ync.ne.jp/otemachi/kouza/202610-18011502.htm



